



文星芸術大学  
附属中学校・高等学校  
〒320-0865  
宇都宮市睦町1-4  
電話 (028)  
636-8000 (中学直通)  
636-8585 (高校直通)  
http://www.bunsei-art.ac.jp  
発行 教務部・学報編集係

# 実り多き第二学期を迎えて

## 文星芸術大学附属中学・高等学校長 上野憲示



長くて暑い夏季特別教育活動期間を終え、いよいよ第二学期に入った。今年の夏は、硬式野球部が「二年連続甲子園出場」の榮譽を得た。県民の期待に応えるべく、一回戦では千葉県代表の市立船橋高校を撃破、二回戦は沖縄県代表の興南高校に勝利し、そして三回戦では、昨年対戦した愛媛県代表の今治西高校とリベンジをかけ対戦した。結果

は惜しくも敗れてしまったが、「文星」の名と本校が掲げる「ライオン主義」の実践を全国に伝えることができたと思っている。試合することになり力をつけ成長していく選手諸君の姿は、今後も語り継がれていくものと確信している。この間、本校の教職員と在校生徒はもちろんのこと、PTA、硬式野球部父母の会、OB、同窓会等をはじめ、大学、女子校などの学校法人が一丸となって応援して下さい。また、関係団体のみならず、宇都宮市や県民の皆様からも数多くの激励や称賛のお

言葉を頂戴し、本校が多くの方々に支えられていることを痛感した次第である。県知事と宇都宮市長、関係報道機関には、日米親善野球に参加した佐藤投手の帰国を待ち、九月十一日に部長、監督と主将を伴ってご挨拶に伺った。

また、佐賀県で行われた今年のインターハイでは、陸上競技部の弓田選手が、ハンマー投げで本県の選手として初の全国優勝を成し遂げた。日頃の鍛錬の結果であるが、本番で実力を発揮することができたのは、「ライオン主義」の精神で全力を出し切れたからだ

思う。他の部活動では、卓球部が団体・個人戦ともに出場し、勝ち上がって大いに気を吐いた。また、剣道の阿部選手、水泳部の谷田選手も健闘した。

全国高等学校総文祭には、今年も美術部の生徒の作品が選ばれ出展することができた。運動部、文化部ともに全国の中で活躍し、持てる力を十分に発揮してきたことは喜ばしい限りである。

二学期は、勉学・スポーツともに適した季節で、行事も多く、実りある学校生活を送れる学期である。特に三年生にとっては進路を決定する大切な時期である。

就職においては、188名が書類の出願を終え、出陣式を行った。激励を受けて、気持ちを引き締まったと思う。これからの就職試験での健闘に期待する。

- 1p 「学校長より」
- 2・3p 「夏の甲子園！」
- 4p 「輝け！！文星健児」
- 5p 「私の望む生徒像」
- 6p 「英語研修他」
- 7p 「スポーツフェスティバル」
- 8p 「雄飛祭について」

- ### ▽十月
- 19日(金)～20日(土) 雄飛祭
  - 24日(水) 第三回漢字テスト
  - 29日(月) テーブルマナー(三年)
- ### ▽十一月
- 1日(木)～2日(金) 全国国語研究大会
  - 5日(月) 秀文杯校内体育大会
  - 10日(土) 保護者会(一年)
- ### ▽十二月
- 3日(月)～6日(木) 期末考査
  - 21日(金) 第二学期終業式

進学においても、先月行われた「指定校推薦入試選考会議」で41名の生徒が承認を得て出願することになった。また、先週には54名の生徒が「大学入試センター試験」の願書を出願した。一般入試で受験する生徒にとっては、この時期からの勉強が正念場である。「現役生は最後まで粘り強く取り組んでもらいたい。二学期も中間考査が終わる、来週には雄飛祭が控えている。各クラスとも準備で忙しくなると思うが、互いに協力し合って、学校祭を大いに盛り上げてもらいたい。

- ### ▽十一月
- 1日(日) 第一回入学試験
  - 4日(水)～6日(金) 期末考査
  - 8日(日) 模擬テスト
  - 21日(金) 第二学期終業式
- ### ▽十二月
- 17日(日) ボランティア実践
  - 29日(木) 芸術体験(文星芸術大学)
- ### ▽十月
- 27日(土) 福祉体験
  - 19日(金)～20日(土) 雄飛祭
  - 24日(水)～25日(木) 宇河地区
- ### ▽十一月
- 2日(金) ハイキング
  - 5日(月) 秀文杯校内体育大会
  - 10日(土) 第二回学力推移調査
  - 13日(火)～14日(水) PTA学校開放日
- ### 高校行事予定

- ### 中学校行事予定
- 19日(金)～20日(土) 雄飛祭
  - 24日(水)～25日(木) 宇河地区
  - 27日(土) 福祉体験
  - 19日(金)～20日(土) 雄飛祭
  - 24日(水)～25日(木) 宇河地区
  - 27日(土) 福祉体験

# 第89回 全国高校野球選手権大会 出場 熱い夏、再び

## 《甲子園までの足どり》

○栃木県大会

一回戦 2-0 茂木

二回戦 6-0 栃木南

三回戦 3-0 烏山

準々決勝

8-0 真岡工業

準決勝 10-3

国学院栃木

決勝 7-3 宇都宮南

七月十四日から繰り広げられた栃木県大会では、準々決勝までの四試合を完封するといった安定した投手力と、勝ち進むにつれ調子を上げていった打線とがかみ合い、見事、昨年に続いて十回目の甲子園出場を勝ち取った。



## 《甲子園大会》

○一回戦

5-0 市立船橋(千葉)

大会初日の第三試合は関東勢同士の対戦となった。

140mを超える速球派の投手二人を擁する市立船橋に対して、文星は二回、二死三塁から玉川の内野安打と赤川

の二塁打で2点を先制するなど十四安打で5点を奪い、投げては先発の佐藤が相手打線を七安打に抑え完封し、5対0と完勝した。

○二回戦

5-2 興南(沖縄)

大会七日目に行われた二回戦は、予定より二時間半遅れのナイターでの試合となった。初回、栃木県大会

を通して初めてとなる先制点を許すも、その裏、板橋のタイムリーですぐに同点に追いついた。さらに同点で迎えた五回、荒井が右翼ボール際に飛び込む本塁打を放つと、続く六回、八回にも得点を追加した。先

発の佐藤も十奪三振の好投を見せ、二試合連続の完投勝利となった。

○三回戦

2-6 今治西(愛媛)

大会十一日目に行われた三回戦は、昨夏二回戦で敗れた今治西との対戦となった。

雪辱に燃える本校ナイ

ンは三回、菊地のタイム

リーなどで2点を先制した。

先発の佐藤は五回まで相手

打線を無安打に抑えてきた

が、六回、二死一、二塁の

ピンチで三塁打を打たれ同

点とされた。同点のまま迎

えた九回、今治西の四番熊

代に本塁打を打たれ勝ち越

しを許した。

残念ながら雪辱を果たす

ことはできなかったが、懸

念なプレーを見せてくれた

ナインに、スタンドからは

温かい拍手が送られた。



## 二年連続甲子園 「再び聖地へ…」

野球部主将

赤川 知宏

悲願の栃木県大会二連覇を果たし、今年も甲子園の切符を手にして戦うことができたことを今でも誇りに思っています。

今年のチームは、昨年の「第88回全国高校野球選手権大会」に出場し、関西戦での劇的なサヨナラ勝利の栄光と感動が残るまま、周囲の期待と二年連続出場というプレッシャーの中、スタートしました。

秋季大会は、その期待と裏腹にベスト8に終わりました。この大会で自分たちの力のなさを肌で感じ、監督をはじめ、指導者・OBの方々から「お前たちは弱い」と言われ、来年に向けて始まるうとしていたとき、県内の他校の選抜出場という屈辱を受けました。このことは私たち一人一人に強い刺激となり、「夏の甲子園には、俺たちが絶対行く」という意識を高め、冬のトレーニングに力が入りました。その中で、今年のチー

ムは「投手中心の守りのチームにしていく」という監督の指示を受け、ノックを中心とした基本的な練習を毎日続けました。

そして、苦しい練習を乗り切った精神力と個々のレベルアップで挑んだ春季大会は、特待生問題もあり、ベスト8で終わってしまいました。この大会でたくさんの方々の協力を改めて感じる事ができました。そして、一ヶ月間の対外試合禁止のつらい期間も、「絶対甲子園に行く」という誓いを再確認し、チームの心がひとつになり、乗り越えることができました。

「心ひとつ」をスローガンに挑んだ夏の大会。県大会四回戦までの完封勝利、勝負所での集中打、一瞬のスキを見逃さない走塁、一球一球に食らいつく守備、安定した投球、そして様々な思いが力になり、優勝することができました。

憧れの甲子園では、昨年を越える二勝ができ、再び感動してもらえ試合ができたと思います。残念ながら三回戦の今治西高校戦では、昨年の雪辱を果た

すことはできませんでしたが、栃木県代表として精一杯戦ってきました。

最後に、ここまで強くしていたいただいた監督をはじめ、部長、コーチ、学校関係の皆様、そして父母会をはじめとする家族や、ご支援・ご声援を下さったすべての方々に心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



### 応援の要

今年も応援部を中心に、応援団が組織され、甲子園で一九となつて応援を練りあげました。応援部は高校一年生のみ。初めての経験ばかりで大変だったと思いますが、この夏を通して、また大きく成長できたのではないのでしょうか。

応援部一年生のメッセージです。

◇◇◇

応援、がんばった！  
(板橋広大)

甲子園球場の大きさに圧倒された。  
(上野勝美)

甲子園で応援をして、とても大変でした。これからも応援を頑張りたいと思いました。  
(寺崎勇仁)

みんな、一生懸命がんばりました。  
(唐 春長)

応援団で甲子園に行けて、とてもいい経験になりました。  
(増淵 学)

甲子園は、自分たちに感動を与えてくれました。  
(松本幹也)

応援をがんばった。  
(吉田 蓮)

最後の試合は惜しくも今治西に敗退してしまいました。すが、素晴らしい戦いを見



せてもらえて楽しかったし、何より良い経験になりました。応援団に入って良かったという実感が湧きました。  
(植竹勇太)

### 思いを込めて

音楽部部长  
黒川 恵一

今年も野球部が県大会を勝ち進み、優勝を掴み取り、昨年に引き続き甲子園への切符を手に入れました。県予選から、音楽部も一生懸命応援した甲斐があったと思いました。

甲子園での応援は、より一層力が入るものでした。「闘魂」も、県大会とはひと味もふた味も違っていたと思います。暑い中で、必死の応援だったからこそ、一人一人が一言一打に精一杯の思いをこめ、スタンドが「勝利」という思いでまとまったのだと思います。

惜しくも今治西高校に雪辱を果たすことは叶いませんでしたが、高校生活最後の夏を最高のものにしてくれた野球部員には本当に感謝の気持ちで一杯です。どうもありがとうございました。

### 佐藤祥万選手 プロ野球の世界へ

佐藤祥万(普通科三年)選手が、十月三日(水)に行われたプロ野球のドラフト会議で「横浜・ベイスターズ」から四巡目に指名を受けた。本校出身者では六人目の指名者となる。

佐藤選手は、今夏の甲子園での活躍が認められ、全日本高校選抜の一員として、日米親善野球に参加した。帰国後、プロ野球志望届を提出し、指名されるのを待っていた。

指名直後の会見で、「小さいころからの夢がかない、うれしい。」と答えた佐藤選手。どんな選手になりたいか尋ねられると、「県民のみなさんの期待に応えられる選手になりたい。」と力強く答えてくれた。佐藤選手のプロ野球での活躍を大いに期待し、これからも応援していきたい。



### 宇都宮大学との高大連携科学実験講座



宇都宮大学主催の「高大連携科学実験講座」が八月二十八日(火)と九月一日(土)の二回にわたって行われ、本校からは英進科の一年生、計五十名が参加した。高校―大学間の教育の連携をはかることを目的として始まった本講座も、今年で四年目を迎えた。毎年、宇都宮大学を会場として実施されてきたが、今年は形式を変え、一回目は本校にて「講義による授業」、二回目は宇都宮大学において「生徒実験」という新しい形を試みた。

中学棟一階の会議室で行われた一回目の講座は、「身の回りにある化学」をテーマに講義が始まった。「化学」と聞くと身構えてしまう人も少なくないが、「ばけがく」は身の回りにある物質について考え、理解を深めることを目的にし

ていて、その「ばけがくの世界」はずっと先まで続いているということが、講義を通して生徒達に伝えられた。二回目の講座は、会場を宇都宮大学に移し、「化学反応の追跡」、「水素と電気エネルギー」というテーマで二班に分かれて行われた。大学生や大学院生のアシスタントの学生の説明を聞きながら、生徒達は楽しそうに実験に取り組んでいた。普段の高校での授業と違って、大学の講義や実験を体験して感じたことを、これからの高校生活に活かしてもらいたい。



### 輝け!! 文星健児

部活動紹介

この夏の平成十九年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)では、本校選手が素晴らしい成果を収めた。ご声援ありがとうございました。(※英II英進科、普通科、総ヒII総合ビジネス科)

### 弓田選手ハンマー投げで優勝!!

#### 陸上競技部



弓田 倫也選手

昨年度に続きインターハイに出場した本校陸上部の弓田倫也選手(普三年)が、念願の全国優勝を果たした。八月四日のハンマー投げ決勝では、二位と大きな差をつける62.47の大投擲を見せて堂々の優勝。高校生日本一に輝いた。投擲種目での優勝は栃木県勢初の快挙で、新聞等にも大きく報じられた。次は、十月二十一日に大分県で行なわれる日本ジュニア選手権が控えている。弓田選手はハンマー投げに出場予定で、自己記録のさらなる更新を目指し、鈴木精一先生や他の陸上競技部員とともに日々練習に励んでいる。

【ハンマー投げ】  
優勝 弓田 倫也 62.47

#### 【砲丸投げ】

六位 弓田 倫也 15.17  
予選 石渡 亮太(普二年) 14.17

#### 【円盤投げ】

九位 弓田 倫也 49.17



練習中の弓田選手

#### 卓球部

#### 四回戦進出の活躍

インターハイに出場した本校卓球部は、ダブルスで澤島正輝選手(英三年)・竹原誠志選手(普三年)組が四回戦まで勝ち上がる活躍をした。

#### 【大会結果】

【男子ダブルス】  
一回戦 3-1 専大北上  
二回戦 3-0 杜 若  
三回戦 3-2 宮崎工  
四回戦 2-3 新潟産大附

#### 【学校対抗】

澤島・竹原・鈴木誠(普三年)  
一回戦 3-2 木更津総合  
二回戦 0-3 東山

#### 【男子シングルス】

竹原誠志  
一回戦 3-2 帝京安積

#### 剣道部

【大会結果】  
【男子個人】

阿部裕也(普三年)  
一回戦 メー 那 賀  
二回戦 メー 仙台育英  
三回戦 コ 和歌山東

#### 水泳部

【大会結果】  
【四百メートルメドレー予選】  
谷田智史(英二年) 4分40秒43

#### 第62回国民体育大会 秋田わか杉国体

九月二十九日から秋田県で開催されている第六十二回国民体育大会において、栃木県の代表として、本校から九名の選手が選ばれた。

#### 【陸上競技少年男子】

【ハンマー投げ】弓田 倫也  
【砲丸投げ】弓田 倫也  
【剣道少年男子】阿部 裕也  
【バスケットボール少年男子】

吉澤 克之(英三年)  
近藤 裕樹(普三年)  
勝田 剛史(総ヒ三年)  
【卓球少年男子】澤島 正輝  
竹原 誠志

#### 【水泳競技】

【二百メートル】谷田 智史

#### 陸上競技部

九月二十三、二十四日に行われた県高校新人スポーツ大会では、砲丸投げで古渡亮太選手が14.21の大会新記録で優勝、砲丸投げも優勝と二冠に輝いた。ハンマー投げでは石原高志選手(普一年)が三位に入賞した。なお、この日ハンマー投げにオープン参加した弓田倫也選手は非公式記録ながら65.90という日本高校記録を大きく上回る投擲を見せた。全国レベルの技に県内の後輩選手たちも大いに刺激を受けたことだろう。

#### バスケットボール部

#### 一年生大会優勝!

八月二十日から二十二日にかけて行われた県高校一年生大会において、本校バスケットボール部が、宇都宮工業高校を決勝で下し、見事優勝を勝ち取った。宇工高とは今年度の県総体決勝、インターハイ県予選決勝で対戦し、連敗を喫していた。今大会で接戦を制し、雪辱を果たすことができた喜びは大きい。文星バスケット部の今後の活躍が期待される。

本校 89  
29 20 17 23  
11 11 11 11  
18 28 19 21  
86 宇工

#### テニス部

#### ダブルスでベスト4!

九月十六日に県総合運動公園で行われた栃木県高校新人テニス大会男子ダブルスにて、本校の森下裕貴選手(普二年)・八本佑介選手(普二年)組がベスト4入りを果たした。準決勝で敗れはしたが今大会優勝した足工大附ペアと接戦であった。十一月二日から行われる団体戦にも大きな期待がかかる。

#### 和太鼓部

九月二十一日宇都宮市青年会館(コンセーレ)にて行われたマヌカウ市(ニュージランド)学生訪問団ウェルカムパーティーに、本校の和太鼓部が参加し、日本文化を代表する和太鼓の力強い演奏を披露した。参加者は皆、太鼓の音色に耳をすまし、惜しみない拍手が会場を包んだ。また、途中、学生訪問団の皆さんにも壇上で太鼓の



実演体験をしてもらったが、部員達もジェスチャーを交えながらアドバイスする場面が見られた。

また、今夏宇都宮市主催の「マヌカウ市への中学生・高校生派遣事業」に参加し、約五十日間のホームステイを体験した堀健人君と磯崎要君(共に英二年)も、パーティーの実行委員として企画に加わった。

なお、二人のニュージランド滞在記は今年度末に発行される文芸誌「雄飛」に掲載予定。

#### 実用英語検定合格者

(二〇〇七年七月十三日)

#### 準一級

佐藤 裕太郎  
(大学中級レベルの超難関合格は本校初の快挙)

#### 一級

中島 祥吾 松原 宰栄  
橋本 和

#### 準二級

森 透 平野 展崇  
吉村 昌泰 石井 琢馬  
新山 周史 横塚 隆宏

木戸 克治 奥岡 諒  
広瀬 裕士 仲田 早太  
山口 夏生 大坪 翼

#### 三級

加藤 正鷹

永井 恰 潮田 兼一  
森田 有一

### 中学校

#### 私が望む生徒像



教頭 阿久津 功

中学校は平成十七年度に開学し、本年度で三年目を迎え、生徒数も五十一名となりました。来年度は、現在の中学三年生が初めて高校一年生となります。そこで、更なる飛躍をするために、生徒諸君に次の三点を心がけて欲しいと考えます。

一つ目は、先生や両親から「勉強しろ。」と言われなくても自分から目標を持ち、自主的に学習する習慣を身に付けるといことです。要するに、勉強とは「自分のためにするものである」ということを認識して欲しいのです。大学合格が最終目標ではありません。自分がより良く生きるために勉強はするもので、生涯を通して学習は続くのです。自主的に学習する生徒になって欲しいものです。

二つ目は、「善悪の判断ができる生徒」になってほしいと思います。やって良い事と悪い事の判断ができ、やってはいけない事は絶対にしない勇氣を持つことが必要です。また、良いことは率先して実践できる生徒になって欲しいと考えます。世の中には、多くの誘惑があり、自分で判断しなければならぬ場面も多々あると思います。そんなときに、理性ある判断のできる生徒になることを望んでいます。

三つ目は、社会のため、人のために「役立つ人間・貢献できる人間」になって欲しいと思います。人間は誰でも必ず良いところを持っていきます。まずは、どんな些細なことでもいいので、自分の長所は何かを考えてみましょう。その長所は時に人を助け、時に人を幸せにできるはずですよ。ひいては社会に貢献できるはずなのです。

中学生という時期は、何事においても成長途中です。一人ひとりがこれらのことを自覚・認識し、学校生活において実践することで、さらに立派な生徒になることを期待しています。

### 雄飛祭

十月十九日(金)、二十日(土)に雄飛祭が行われます。

三年生にとっては最後の学校祭になり、それぞれのクラスが一致団結し、準備に精を出しているところです。各クラスの企画した内容を簡単に紹介します。

#### 《一年生》

「力学の世界」  
力学の研究の成果を披露します。

#### 《二年生》

「錯覚ワールド」  
人間の脳をだましてしまう面白い絵や図形を展示します。

#### 《三年生》

「沖繩の研究」  
来年の二月に修学旅行で沖繩に行きます。そのための事前研究の成果を展示発表します。また、修学旅行の際に、千羽鶴を奉納したいと思っています。そこで、皆さまにも鶴を折って協力していただきたいと思っています。

### 中体連総体地区予選

七月二十二日(土)から二十四日(月)まで、三年生にとっては最後の大会となる総体地区予選が行われました。



バスケットボール部  
充実感に溢れていました

バスケットボール部、テニス部、剣道部、それぞれ持てる力を十分に発揮しましたが、残念ながら「一回戦突破」という目標には届きませんでした。詳しい結果は次の通りです。

#### 《バスケットボール》

本校	40	6
	8 11 15	11 11
	11 29	18 8
	66 城山	

#### 《ソフトテニス》

団体  
本校 0-3 泉が丘



剣道部  
惜しくも延長の末、判定負け



ソフトテニス部  
目標は1セットを取ること

夏季特活期間より新チームがスタートし、全ての運動部の目標である「一回戦突破」を実現できるように、生徒達は日々努力しています。今後ともご理解、ご協力をよろしく願います。

宇河地区新人戦の結果につきましては、次号に掲載を予定しています。

### 東日本大会 in 東京

将棋部 主将 小倉 一富史

県大会を勝ち抜き、七月二十六日(水)に東京都夢の島スポーツ文化センターで開催された東日本大会に出場しました。大会までは、県大会から二ヶ月しかなく、県大会での弱点を克服するために日々練習に励みました。大会は、予選で四つのブロックに分かれ、そのブロックで全勝しなければ次に進むことが出来ず、会場全体が熱気に包まれていて、とても緊張しました。結果は、予選リーグ敗退でしたが、この大会に参加して、力の差を肌で感じることが出来ました。僕たちには、来年もあります。今年よりも良い成績が残せるように、みんなで一致団結して頑張りたいです。



将棋部  
来年にリベンジを誓う!!

# サマーキャンプ

## 《一年生》

八月二十日(月)から二十一日(水)に、二泊三日で福島県の羽鳥湖畔にある羽鳥湖高原レジャーの森で、サマーキャンプを行いました。

当日は、雨の予報を見事に裏切り、すがすがしい森の空気に包まれていました。到着後すぐに、テントの設営に取り掛かりました。初めての作業に少し戸惑いながらも何とか寝床を確保でき、自然散策へと出かけました。ポランテアの方の案内で、ウルシの木や「千と千尋」の釜爺のモデルとなったザトウムシなども見つけることができました。初日の夕食はカレーで、三班三様のカレーができ、飯盒炊爨も協力し合いながらこなしていました。

二日目の朝は緊張しているせい、みな早い時間から起きていたようです。この日は「ディスクゴルフ」、「ルアーフィッシング」、「カヌー体験」と多くの活動をこなしましたが、一番盛り上がったのは「魚(マス)のつかみ取り」でした。おかずにされまいと逃げ難の業で、生徒たちは必死に

水の中を走り回っていました。続いてマスの塩焼きの下準備を行いました。お腹を裂き内臓を出すという作業は嫌がるかと思いましたが、意外に多くの生徒が抵抗なく取り組めたことに驚きました。

この三日間の自然体験の中から生徒たちは何かをつかめたことと思います。また、クラスの絆も行事を通して太く強くなったように思います。

(大豆生田 記)



一年生  
自然に囲まれた三日間でした

## 英語研修

### 《二年生》

八月二日(木)から四日(土)の二泊三日で宇都宮の冒険活動センターにおいて開催された、アメリカン・キャンプに二年生が参加しました。目的は、外国人留学生と一緒に合宿生活を送り、国際理解を深めるとともに、英語でのコミュニケーションを学ぶことです。

キャンプ三日間はすべて英語で話をしなければいけません。夜も一部屋に一人の留学生が宿泊し、片時も英語から離れる時間がなく、英語に苦手意識を抱いている生徒は、戸惑っているようでした。しかし、三日間という短い期間で、一分間の自己紹介を英語で話せるように練習したり、留学生と一緒に劇を作ったりと様々な活動を通して、次第に自ら進んで留学生と自ら話す姿が見られ、英語を理解しようという心がけているようでした。

二日目の夜は、アメリカ式のキャンプファイヤーを行い、ダンスをしたり、マシュマロを焼いたり異文化に触れることができました。

三日目は、大勢の前で、キャンプの成果を発表する場がありました。しかも英語で発表するということは生徒にとって試練であり、とても緊張した面持ちでした。しかし、それぞれがこのキャンプの成果を発揮できたことで、英語劇では賞をもらう班もありました。この三日間は、授業のような受身的な学習ではなく、自らが主体と



二年生  
留学生と集合写真です

なって英語を身に付けようとする姿勢を育む良い機会になったと感じます。

### 《三年生》

(荒井祐 記)

八月二十三日(木)から二十五日(土)の二泊三日で、福島県天栄村にあるブリテッシュ・ヒルズにおいて英語研修が行われました。ここは、施設全体が中世の英国様式で統一され、建築材料や家具はすべてイギリスからの調度品というこだわり振

りです。そのため、語学だけでなく中世の伝統的な貴族文化を体験でき、日本に居ながらにしてイギリスへの留学気分を味わうことができました。さらに講師も全員がネイティブの方ばかりで、オリエンテーションからすべてが英語で行われました。最初は緊張気味の様子でしたが、若さの特権がすぐに順応することができました。

プログラムは、英語学習はもちろんのこと、イギリスの伝統料理を作ったり、イギリスのスポーツをしたりなど多くの体験活動がありました。また、夕食ではテーブルマナーを学ぶ機会があり、生徒たちは普段使うことの少ないナイフとフォークに悪戦苦闘しながら食べている様子が印象的でした。このような様々な体験プログラムを通して各々が『生きた英語』に触れることができました。

後日、生徒に感想を聞くところ、今日の語学研修の中で一番楽しく、英語に興味を持ちことができたとの声がありました。高校に入ると今までの英語よりも格段と難しくなり、英語が苦手だと感じることもあるかもしれませんが、そんなときに、この英語研修での楽しい体験を思い出していただければと思います。

本年度は、七月二十三日(月)から三十日(月)の約一週間を「サマースクール」として、学校開放を行いました。内容は、リカバリーデイと同様、自主的な学習を支援するというものです。一年生から三年生まで同じ教室に集い、三時間以上も集中して自習するということは、生徒にとって大変なことですが、多くの生徒が毎日登校し、各自の課題に黙々と取り組んでいました。上級生は下級生から刺激を受け、下級生も上級生の姿を目にする中で、高い意識で取り組むことができました。また、夏季講習を八月二十七日(月)から三十一日(金)の一週間実施し、始業式前に通常の授業が行われました。この一週間で生徒の気持ちを引き締めるとい

う点でとても効果があり、二学期からの授業にスムーズに入ることができました。

# サマースクール 夏季講習

冬季の特活期間においても、十二月二十五日(火)から二十七日(木)に学校開放を実施しますので、保護者の皆様のご協力をお願い致します。



三年生  
ブリテッシュ・ヒルズ正面玄関にて

# スポーツフェスティバル 〜九月八日(土) グランドにて〜

生徒会 副会長  
三年 鈴木 浩平

生徒会主催のスポーツフェスティバルが九月八日(土)に行われました。生徒会を中心に準備を進めていきましたが、前日は台風が上陸し、学校も休校で開催できず、学校も休校で開催できず、当日は天候に恵まれ、予定通りに開催することができたので良かったです。



選手宣誓!!  
三年一組 長岡 有紀

競技は六種目行いました。まずは、個人種目の「二人三脚で障害物走」を行いました。練習する期間があまりなかったのですが、それぞれのペアで声をかけ、協力して走りました。最後の障害物は、大福を口で取るというもので、生徒も先生も顔を真っ白にしている姿



障害物競走  
顔を真っ白にして激走!

が面白かったです。次は、学年別種目で、一年生は「風船割り」をやりました。うまく膨らまることができなかったり、なかなか割れなかったりと苦戦している様子でした。二年生は、「ムカデ競争」をやりました。クラスで二チーム作り、先生方も加わり行いました。なかなかうまく歩くことができずに、途中で何回も転びながらゴールしていました。三年生は、生徒会オリジナルの「走り縄跳びリレー」をやりました。一人でグラウンドを半周はきつかったです。最後に、学年対抗種目として、綱引きとリレーをやりました。綱引きは、さすが三年生という感じで、貫禄勝ちでした。リレーは、

学年によって走る距離が違い、三年生は一周、二年生は半周、一年生は半周と教員が四分の一、保護者チームは四分の一でした。みんな一生懸命に綱引きやリレーをやっていました。保護者の方や先生方のほうが、生徒よりも張り切って頑張っているようでした。来年は後輩たちに今年よりも楽しく、盛り上がるスポーツフェスティバルになるようにしてほしいです。

### 《 結果 》

- 綱引き
  - 優勝 三年生
  - 二位 二年生 B
  - 三位 一年生
  - 四位 二年生 A
- リレー
  - 優勝 二年生
  - 二位 三年生
  - 三位 一年生
  - 四位 保護者



ムカデ競争  
全員で息を合わせて!



学年対抗リレー  
教員も生徒に負けじと必死に走りました



閉会式  
それぞれが精一杯頑張りました



綱引き  
三年生は強かった

## 英語スピーチ コンテスト 校内予選会

での英語学習の集大成であるかのように、聴衆を沸かすほどの素晴らしいスピーチでした。

九月二十二日(土)に、英語スピーチコンテスト校内予選会が行われました。生徒はコンテストに向けて、夏季特活に入る前から準備に取り掛かり、日本語で自分の意見や考えを述べ、それを英語に訳していきました。もちろん、全ての文章を生徒一人で英訳するのは難しいので、本校のネイティブスピーカーであるクリス先生や英語科の教員がアドバイスしながら、既習の英語を十分に生かして英語に訳し、原稿を仕上げました。発表の練習は、英会話の時間を使ってクリス先生を中心に、単語の発音の仕方やイントネーション、強勢など原稿を単に読むのではなく、聴衆をいかに惹きつけて自分の考えを発表するかという点に力をいれました。当日は、全校生徒や審査員、多数の保護者が見守る中で将来の夢や体験談、主張などを緊張しながらも堂々と発表していました。特に、三年生は原稿を全て暗記して発表し、今ま

今回の英語スピーチコンテストにおいて、生徒一人ひとりが自分の考えをしっかりと発表し、他の生徒の発表を真剣に聞くことができました。自分の意見を主張しつつ、人の意見を認め尊重していくということが難しいとされる今日、生徒たちにとって非常に貴重な経験となったと思います。また、このコンテストで最優秀賞の生徒は、十月二十四日(水)、二十五日(木)に行われる宇河地区英語スピーチコンテストに、本校代表として出場します。ぜひ、良い結果が残せるよう頑張ってください。

- 《一年生》
  - 最優秀賞 岡崎 響
  - 優秀賞 長谷川 潤
- 《二年生》
  - 最優秀賞 山中 諒佑
  - 優秀賞 川喜田竜平
- 《三年生》
  - 最優秀賞 大出 真央
  - 優秀賞 館野 正樹

- 《一年生》
  - 最優秀賞 横山 昂司

# 平成19年度「雄飛祭」

## テーマ～「栄光」～

平成19年10月19日(金)、20日(土) AM 9:00 ～ PM 2:30  
(20日(土)のみ一般公開)



### 第五回雄飛祭



生徒会長  
三年 木村 大将

来る十月十九日、二十日に本校文化祭「雄飛祭」栄光」が開催されます。今年のテーマは、「栄光」です。今までの中で、最も輝かしいイベントにするという意味です。

今までの雄飛祭は、先生方の指導の元で行われていた部分がありました。今年度は、我々生徒が主役の

雄飛祭であるということに自覚し、一人ひとりが楽しみ、個性の出せる雄飛祭にしていきたいと思っています。

我々生徒会が中心となり、過去五年間の中で一番アツイ雄飛祭にしていきたいと思っていますので、ぜひ文星芸術大学附属高校「雄飛祭」栄光」にお越し下さい。



雄飛祭 ポスター作成者  
美術デザインコース  
二年十組  
ベイリー・ベンジャミン

### 雄飛祭プログラム

10月19日(金)

- ・オープニングセレモニー
- ・「TKO」・「わんわんニャンニャン」(芸人)
- ・ステージ発表(生徒)

10月20日(土)

(一般公開日)

午前9時～午後2時30分

最終入場(午後2時)

#### 〈展示発表・企画〉

- ・パットゴルフ
- ・ストラックアウト
- ・デザインTシャツ販売
- ・トリックアート
- ・縁日
- ・ウオーリーをさがせ
- ・川柳展示など

#### 〈模擬店〉

- ・唐揚げ
- ・フランクフルト
- ・ポップコーン
- ・ジャガバター
- ・焼き鳥
- ・クレープ
- ・アイスクリーム
- ・チョコ&チョコなど

※お車での来校は出来ません。公共交通機関をご利用下さい。

スリッパをご持参願います。